

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年10月16日（木）

2 確認箇所

- ・ J 8 タンクエリア、 J 9 タンクエリア（図 1）
- ・ 危険物屋外貯蔵タンク（旧野鳥の森）（図 1）

3 確認項目

- （1） J 8 タンクエリア、 J 9 タンクエリアの解体作業状況
- （2） 危険物屋外貯蔵タンクの状況

4 確認結果の概要

（1） J 8 タンクエリア、 J 9 タンクエリアの解体作業状況

処理途上水を保管している J 8 タンクエリア及びALPS 処理水を保管していた J 9 タンクエリアでは、3号機の燃料デブリ取り出し関連施設の建設が予定されている。J 9 タンクエリアでは、エリア内に設置された溶接型タンク及び付帯設備の解体作業が令和6年度下期から令和7年度末にかけて計画されており、J 8 タンクエリアではタンク内の処理途上水移送が9月25日に完了し、今年度中の解体に向けた準備が進められている。

県では、J 9 タンク解体工事の実施状況について継続的に確認しており、本日もその確認を行うと共に J 8 タンクエリアの状況を確認した。（前回確認：令和7年9月12日）

- ・ J 9 タンクエリアでは12基全ての溶接型タンクの解体が完了しており、コンクリート堰の解体が進められていた。（写真1）
- ・ J 9 タンクエリア内及び北側にはタンクの解体片が整然と仮置きされていた。確認した範囲において、これら解体物の飛散等は無かった。（写真2）
- ・ J 8 タンクエリアでは、タンクの北西側にタンク底部の残水を移送するための車両（大型吸引車）が停車しており、タンク内の清掃等が行われていた。車両とホースの接続部は養生されており、確認した範囲において漏水は無かった。（写真3）
- ・ J 8 及び J 9 タンクエリア北側に設置された電柱の撤去作業が行われていた。（写真4）

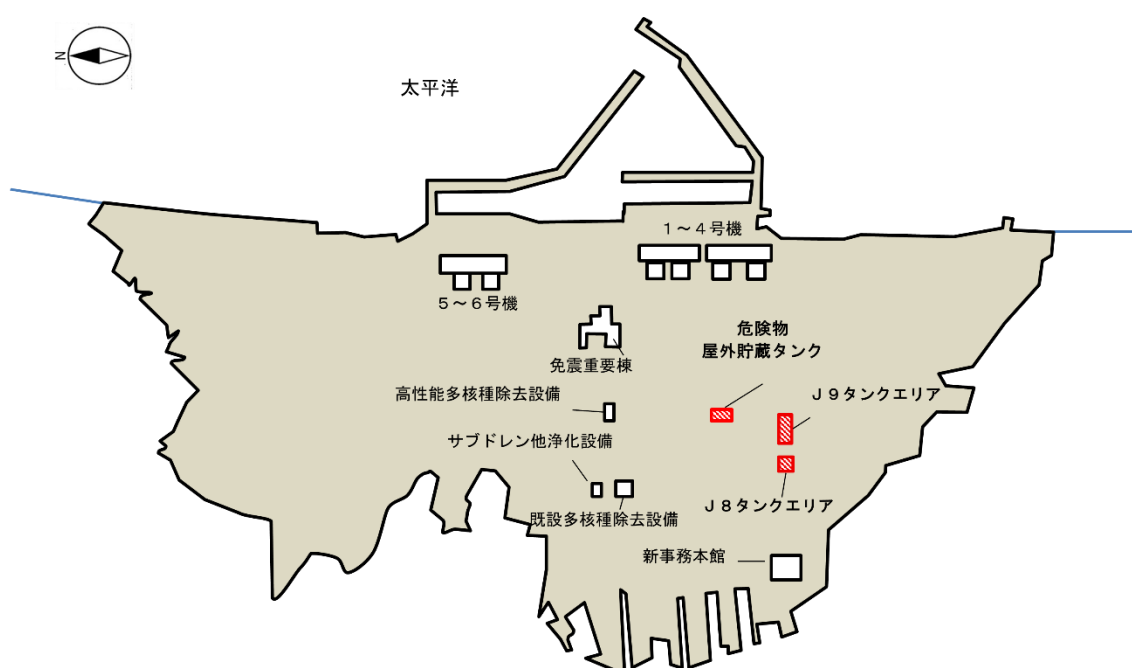
（2） 危険物屋外貯蔵タンクの状況について

令和5年5月22日に、危険物屋外貯蔵タンクの No. 1 電気絶縁油タンクのブリーザ部※からPCB含有絶縁油が漏えいした。

漏えいした絶縁油は、防油堤内に留まり、堤外への流出はなく、吸着マットによる漏えいした絶縁油の回収、ブリーザ部の絶縁油の抜き取り等の対応が実施された。本日は、危険物屋外貯蔵タンクのその後の状況について確認した。（前回確認：令和7年8月1日）

※ブリーザ部：空気・圧力を放出する通気孔

- ・防油堤内に雨水は溜まっていたものの、確認した範囲において油膜や油の漏えい等は認められなかった。（写真5）
- ・既設の危険物屋外貯蔵タンク（No. 1～No. 10）の北側では新設タンクの建設が完了していた。（写真6）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真1①）堰の解体状況



（写真1②）堰の解体片



(写真 2 ①) 溶接タンクの解体片



(写真 2 ②) 鉄筋等の解体片



(写真 3) J 8 タンク内清掃等の状況



(写真 4) 電柱の撤去



(写真 5 ①) 既設タンクの設置状況



(写真 5 ②) 防油堤内の状況



(写真 6) 新設タンクの設置状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。